

令和2年度

事業報告書

公益財団法人
新潟県保健衛生センター

令和2年度 事業報告書

1 事業総括

(1) 概況

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、当財団の事業実施数は大きく減少した。緊急事態宣言解除後の6月以降は学校保健を優先し、7月からは地域住民健診、事業所健診を再開してきたが、受診者の受診控えや予約定員の制限などによって、受診者数は前年度の約8割であった。

◎ 緊急事態宣言に伴う休業期間

- 成人病検診センター 令和2年4月23日(木)～5月8日(金)まで
- 巡回検診 令和2年4月23日(木)～5月30日(土)まで
休業を延長

事業別にみると、新潟県内の出生数に連動している母子保健の先天性代謝異常検査は、14,849件の実施で、前年度比較97.3%であった。学校保健の尿検査は前年度比較94.6%、心臓検診は前年度比較97.2%であり、検診日程は遅れたものの、実施数としては新型コロナウイルス感染症の影響は少なかった。

一方、当財団の主要な事業である地域保健は、「健診日程の変更」や「受診者の健診控え」が大きく影響し、特定健康診査は前年度比較75.2%、肺がん検診73.3%、胃がん検診75.8%、大腸がん検診81.5%、乳がん検診66.5%、子宮がん検診は52.3%と大幅に減少した。

職域健診においては、出張健診の定期健康診断は19,592件で前年度と比較して84.7%であり、人間ドック受診者は、前年度より200名ほど減少し92.5%の実施であった。また、事業所健診では、産業医契約及び保健指導を含む総合的な健診の委託が増加しているが、医師をはじめとするスタッフの確保が難しく事業を縮小せざるを得ない要因の一つとなっている。

健康支援事業では、新型コロナ感染拡大の影響により、特定健康診査の減少に連動して、保健指導も前年度比較で55.1%の実施にとどまった。

当財団の経営においては、職員の賞与減額による人件費抑制や設備投資の保留

などによって支出を押える対応を行なうとともに、下期の健診日程を降雪期の1月頃まで延長するなどして、事業数の確保に取組んだ結果、当初に予想した事業落込みを最小限にできたと考えている。

- 経常収益の対前年度 △ 225,732,808 円減少
- 経常費用の対前年度 △ 117,454,256 円減少

(2) 公益目的事業の内容と成果

当法人は、定款において公益目的を達成するための事業として7つの公益目的事業を掲げている。令和2年度において、それぞれの事業の概況と成果は、次のとおりである。

ア 健康増進、生活習慣病予防及び早期発見のための(地域)健診事業

市町村の住民を対象に実施される、対策型の「地域(住民)健診」は、県民の健康の保持増進を第一の目標に掲げる当財団の主要事業である。

長岡市、小千谷市、見附市、三条市など中越・県央地域を中心に、特定健診を実施している。今年度は緊急事態宣言解除後の7月以降の実施となったことにより、「健診日程の変更」や「受診者の健診控え」が大きく影響し、前年度比較75.2%と減少した。

住民の各種がん検診についても、結核・肺がん、胃がん、大腸がん、乳がん・子宮がん検診の前年度比較で52.3~81.5%にとどまった。新潟市・長岡市など、感染症対策のため、予約制を導入する市町村が増加している。

イ 働く人の健康管理業務全般にわたる支援活動業務

この事業は、労働安全衛生法に基づき事業所等が従業員に対して実施する定期健康診断や特殊健診、これと同時に実施する各種がん検診などである。

当財団の職域健診では、行政、教育職場の占める割合が大きく、毎年度実施される競争入札の結果に影響され、出張の定期健診は前年度比較84.7%であった。

人間ドックの受診者は、全体として当財団の医療設備が古くなってきたことや、新潟市内の健診施設のリニューアル等の影響を受けて減少傾向が続いており、前年度比92.5%にとどまった。

ウ 母子保健、学校保健分野における検査事業

母子保健における新生児先天性代謝異常検査は、新潟県および新潟市から委託を受け県内で唯一、当財団のみが実施している事業である。出生数の減少のため

前年度より約 400 人の減少はあるものの、減少幅はやや鈍化し、今年度 14,849 件の実施となっている。

精密検査機関である新潟大学小児科内に設立した「一般社団法人 新潟小児希少疾患協会（あすくるん）」は、「希少疾患に対する付加新生児スクリーニング」の準備を進め、令和 2 年 1 2 月から検体の受入れを開始している。

学校保健のうち、児童・生徒の心臓検診は、市町村小・中学校及び高校生を対象に 35,906 件実施した。また、新潟市や長岡市の教育委員会及び医師会との連携のもとに、小児腎臓病や小児糖尿病の早期発見のための尿検査（146,293 件）を担っており、今後とも、この分野における指導的機関としての役割を果たしていく。

エ 検査・健診の結果データの分析評価を地域社会に還元する事業

当財団は、県内唯一の公益財団法人認定を受けた健診機関として、地元医師会や市町村等と連携しながら、健診・検査業務の精度の向上を図るとともに、その結果を疾病の早期発見や予防活動に活かし、地域保健活動の充実を目指している。今年度は、健診・検査の結果を統計的に分析した「令和元年度版事業年報」を編集発行した。また、県内で胸部疾患に関わる医師を対象にした「読影医師研修会」等を開催し、引き続き県内医師の読影技能の向上を目指している。

オ 予防医学思想の普及、健康増進啓発に向けた健康づくりへの支援事業

この事業は、健康診断後における保健指導や一般市民を対象にした健康教育、糖尿病等の予防啓発を行うことにより、広く県民の健康づくりを支援していくことを目的にしている。市民を対象にした第 16 回市民健康講座は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、インターネット（Y o u T u b e）配信で実施した。令和 3 年 2 月 12 日（金）～14 日（日）に、約 260 人の視聴があった。また、メディアシップ健康げんき倶楽部において、少人数（グループ）制の健康教育事業の一環として「心とからだの健康づくりセミナー」を継続的に実施するとともに、今年度も新潟市中央区の委託事業「糖尿病予防セミナー」講座を実施した。

カ 感染症予防に関する知識の普及啓発並びに予防事業

この事業は、食品取扱関係者や福祉施設・医療関係者などに感染症予防の知識を普及し、必要な検査を行うとともに、インフルエンザについては学校など集団感染が懸念される場所において集団の予防接種事業を行うものである。インフルエンザ予防接種は 12,283 件の実施であった。B 型肝炎や麻疹・風疹を含む全体の予防接種事業は 13,695 件で前年度対比 116.4%と増加した。

キ 提携して業務を行う法人への協力事業

当財団は、予防医学事業中央会ならびに結核予防会本部という、日本全体で保健活動を展開している二つの全国組織と提携し、それぞれの組織の新潟県支部として県民向けの啓発活動などの協力事業を実施している。特に、結核予防会複十字シール募金活動は、年間で約 207 万円の募金の実績があり、社会啓発活動に努めている。

新型コロナウイルス感染症の影響は大きいですが、以上のような公益目的事業を通して、県民が生涯にわたり心身ともに快適な生活をおくることができるよう、地域保健、職域保健、母子保健、学校保健、感染症予防、健康づくりなどの各分野における保健衛生活動を継続的・安定的に実施していくことが公益法人としての当財団に課せられた使命であると考えている。

2 個別事業の報告

当財団は、定款において定める公益目的事業の区分とは別に、公益財団法人への移行設立時において、事業全体を「検査事業」「健（検）診事業」「健康づくり事業」の3つの個別事業に大別している。この3事業の実績と課題は次のとおりである。

第1 検査事業

(1) 母子保健

新潟県・新潟市より委託を受け実施している新生児マス・スクリーニングは、行政・新潟大学・県医師会の指導のもと、県内唯一の検査機関として引き続き高い精度を維持するよう努めている。

今年度から、新潟大学小児科内に設立された希少疾患協会「あすくるん」による「希少疾患に対する付加新生児スクリーニング」が開始された。

	当年度	前年度	前年度比%
先天性代謝異常検査	14,849	15,257	97.3
付加新生児スクリーニング	286		新規

(2) 学校保健

学校保健安全法に基づく尿検査は、児童・生徒の腎臓病・糖尿病の早期発見・早期治療を目的に行われている。県内各市の教育委員会や医師会との連携を密に検査を実施している。例年は4月実施であるが、本年度は緊急事態宣言解除後の6月から検査を開始し、小・中・高校生は順調に推移したが、大学生はリモート授業の影響のため、検査の実施が困難であった。

	当年度	前年度	前年度比%
尿検査(一次・二次)	146,293	154,623	94.6
(うち、腎臓病精密検査)	231	241	
(うち、糖尿病精密検査)	35	27	
貧血検査	7,411	9,792	75.7

(3) 感染症検査

感染症検査のうち、実施数が最も多い腸内細菌検査については、他の衛生検査機関との価格競争の影響を受け、令和2年度は、33,180件、前年度比83.3%の実施であった。

	当年度	前年度	前年度比%
腸内細菌検査	33,180	39,847	83.3
食品検査	632	647	97.7
QFT検査	978	1,173	83.4
HPV検査	108	133	81.2
血液検査(抗体)	1,866	2,174	85.8

(4) その他の検査

登録衛生検査所の業務の一環として、新潟市医師会メジカルセンターからの血液検査、及び近隣の病医院からの婦人科細胞診を受託している。

	当年度	前年度	前年度比%
血液受託検査	754	774	97.4
病理受託検査	3,794	4,096	92.6

第2 健(検)診事業

(1) 学校保健

学校保健安全法に基づき、4～6月までの間に小・中・高校生対象の心臓（心電図）検診、高校1年生対象の結核（胸部レントゲン）検診及び大学や専門学校の学生対象の健康診断を行っている。今年度は、緊急事態宣言解除後の6月に学校保健を集中して実施したが、大学生はリモート授業などのため受検できない状況が続いた。また、私立高校においては、内科医の診察を含む学生定期健診に移行する学校が増加している。

	当年度		前年度	前年度比%
	学校数	人数		
結核検診	84	17,043	25,070	68.0
心臓検診	454	35,906	36,950	97.2
学生健診 (大・専門学生)	18	8,206	6,217	132.0

(2) 地域健診

県内各市町村が高齢者医療確保法や健康増進法などに基づいて実施している特定健康診査及び各種がん検診について、当財団は、特定健診は中越・県央地域を中心に、がん検診は上越地域を除く県内全域の事業を担当している。今年度は、コロナ禍の影響を受けて、特定健診は、前年度比75.2%の実施であり、各種がん検診についても、受診控えが続き、前年度比52.3～81.5%の実施にとどまった。特に、3密を避けるための完全予約制を導入した市町村については、今後の受診者数の動向に留意しなければならない。

	当年度		前年度	前年度比%
	市町村数	人数		
特定健診	6	26,799	35,624	75.2
結核検診 (65歳以上・39歳未満)	19	79,213	107,850	73.4

		当年度		前年度	前年度 比%
		市町 村数	人数		
地域 が ん 検 診	肺がん検診 (40歳以上)	19	101,446	138,413	73.3
	喀痰細胞診	12	1,158	2,267	51.1
	胃がん検診	7	12,528	16,527	75.8
	大腸がん検診	9	31,650	38,849	81.5
	乳がん検診	15	15,468	23,270	66.5
	子宮がん検診	13	7,306	13,960	52.3
	前立腺がん検診	6	3,348	4,678	71.6
骨検診		3	734	972	75.5

(3) 職域健診

労働安全衛生法に基づき事業所等が実施する定期健康診断は、行政・教育機関の職場の占める割合が大きく、毎年度の競争入札の結果に影響される。

定期健康診断は19,592件、施設における定期健康診断数は14,339件であった。

		当年度	前年度	前年度比%
定期健診	出張	19,592	23,126	84.7
	施設	14,339	14,662	97.8
特殊健診		2,172	2,619	82.9
職 域 が ん 検 診	胸部検診	36,548	39,892	91.6
	胃がん検診	13,720	14,308	95.9
	大腸がん検診	13,609	14,080	96.7
	乳がん検診	4,117	3,997	103.0
	子宮がん検診	3,503	4,908	71.4
	前立腺がん検診	1,976	1,875	105.4
事業所 骨検診		200	236	84.7

(4) 人間ドック検診

当財団が提供する人間ドックは、各種健康保険組合、公務員共済組合との受託契約に基づくもののほか、全国健康保険協会（協会けんぽ）及び新潟市国保の検査項目に上乘せをして実施する形態など、受診者のニーズにできる限り対応するようにしている。消化器専門医の不足などや、他の大規模な健診機関の影響を受けて、受診者数は1日平均して15～20人程度の少人数になっている。

	当年度	前年度	前年度比%
人間ドック	3, 235	3, 496	92.5

第3 健康づくり支援事業

(1) 特定保健指導

高齢者医療確保法に基づく特定保健指導は、小千谷市や見附市などの市町村からの委託により住民国保を対象にした出張の特定保健指導、及び人間ドック受診当日の検査結果に基づく指導などを実施している。コロナ禍の影響により、市町村住民の特定健診受診者数の減少に連動し、保健指導人数は前年度比63.3%の実施となった。

特定保健指導の区分	当年度 人	前年度 人	前年度比%
住民対象（市町村国保）	62	98	63.3
職域対象（協会けんぽ、共済組合など）	287	298	96.3
健康げんき倶楽部における特定保健指導	18	25	72.0

(2) ストレスチェック

労働安全衛生法により義務化されたストレスチェック検査は5年目となり、事業所の規模や要望に応じて、利用するコンピュータシステムを使い分けている。ストレスチェックのみを安価に実施する検査機関が参入しており、検査数が大きく減少した。

ストレスチェック	当年度 人	前年度 人	前年度比%
ストレス検査	11, 246	13, 622	82.6
医師面談指導	31	36	86.1
メンタルヘルス相談	1	5	20.0

(3) 生活習慣病予防事業

成人病検診センターに特殊（糖尿病・禁煙）外来を設置し、次のような予防事業を実施した。

ア 糖尿病予防事業

健診の結果を踏まえ、糖尿病または境界型糖尿病の疑いのある受診者を対象に、山田幸男医師の指導に基づき、糖尿病精密検査、糖尿病教室、フォローアップ外来を実施した。

イ 喫煙予防事業

毎週火曜日に禁煙外来を開設し、土屋俊晶医師のもとで禁煙指導を実施した。

生活習慣病予防事業	当年度 人	前年度 人	前年度比%
糖尿病予防事業	170	194	87.6
喫煙予防事業	8	95	8.4

(4) 健康相談（個別）

健康診断の結果を踏まえ、保健師、管理栄養士の専門職が受診者の健康に関する悩みに個別の健康相談事業を行った。

健康相談の区分	当年度 人	前年度 人	前年度比%
人間ドックにおける健康相談	3,217	3,473	92.6
事業所などの定期健康診断における健康相談 新潟市特定健康診査における健康相談 労災2次健康診断における健康相談他	1,215	1,379	88.1
メンタルヘルス相談 (産業カウンセラー対応)	25	17	147.1
健康げんき倶楽部における健康相談	131	152	86.2

(5) 健康教育（集団）

市町村、学校、事業所、地区組織などが開催する健康教育に関する講演会などに専門スタッフを講師として派遣するとともに、当財団の独自事業として、

少人数制のセミナーの継続的な実施及び第 16 回市民健康講座をインターネット（Y o u T u b e）配信した。

ア 第 16 回市民健康講座の開催

① 日 時 令和 3 年 2 月 1 2 日（金）～ 1 4 日（日）インターネット配信

② 内 容

講演 1 「 がん検診の現状と課題 」

横山 晶 先生 新潟県保健衛生センター 会長

講演 2 「 免疫を高める健康料理 」

吉崎 真子 講師 新潟県保健衛生センター 管理栄養士

③ 参加者 約 2 6 0 名

イ 「心とからだの健康づくりセミナー」の開催

メディアシップ健康げんき倶楽部において、「心とからだの健康づくりセミナー」を継続的に実施したが、新型コロナウイルス感染症対策として 1 回あたりの定員を 6 人に限定したため、延べ参加人数は、142 人であった。

ウ 関係機関が主催する各種健康づくり活動への参加

① 長岡すこやかともしび祭り 新型コロナウイルス感染拡大により中止

② 福祉・介護健康フェア 2 0 2 0 新型コロナウイルス感染拡大により中止

(6) 予防接種

感染症予防の一環として、医療従事者や学生を対象に、B 型肝炎、麻疹、風疹、ムンプス、水痘など感染症の抗体検査及び予防接種を実施した。

また、大規模事業所や学校などを対象にした集団のインフルエンザ予防接種は前年度比 128% の 12, 200 人の実施であった。

予防接種	当年度 人	前年度 人	前年度比%
インフルエンザ	1 2, 2 8 3	9, 5 7 5	1 2 8. 2
B 型肝炎・その他のワクチン	1, 4 1 2	2, 1 8 9	6 4. 5

(7) その他の支援活動

ア 身体障害者への受診対応

県下で唯一リフト装置付胸部検診車を配備し、福祉介護施設の入所者などの受診機会を損ねることのないよう努めている。老朽化したリフト車の更新が今後の課題である。

第4 その他関連事業

(1) 関連機関への参加協力

ア 結核予防会及び予防医学事業中央会への加盟

それぞれの中央本部と連携し、新潟県支部としての活動を推進してきた。今年度はコロナ禍にあり、全国大会や修会等は中止またはオンライン開催で行われた。

① 第72回結核予防全国大会参加

令和3年3月2・3日 東京リーガロイヤルホテル東京 オンライン開催

② 予防医学事業全国大会参加 令和2年11月5日 鹿児島市 中止

③ 予防医学技術研究集会参加 令和3年2月 福岡市 中止

イ 新潟県検診機関協議会への参加協力

新潟県健康づくり財団が事務局を担当している協議会の会議・研修会に参加するほか、肺がん検診部会委員長施設として、より精度の高い検診が実施できるよう、会の運営に協力した。

(2) 専門委員会等の開催

健診検査業務の精度の向上を図ると共に事業を円滑に実施するため、新潟大学や医師会等と連携し専門委員会を下記のとおり開催した。

ア 肺がん検診専門委員会(2ヵ月1回開催) 令和元年7月～令和2年1月

イ 母子関係事業懇談会 令和3年3月4日

ウ 胸部検診読影委員会 村上地区 令和2年11月26日

新発田地区 令和2年度中止

三条地区 令和2年度中止

エ 新潟市読影医師研修会 令和2年10月15日 中止

オ 子宮がん検診委員会 令和3年3月 書面報告

(3) 結核予防複十字シール募金運動

結核予防会本部が全国運動として展開している複十字シール募金を本年度も、保健所、新潟県食生活改善推進委員協議会等の協力を得て行った。

令和2年度 募金額 2,069,811 円 (目標額 2,800,000 円)

3 施設設備の整備

令和2年度における主な設備投資は、次のとおりである。

- 新規購入額 51,257,108 円
- 償還額 26,844,000 円

(1) 高額な検診機器等

ア 胃がん検診車(県央号)デジタル撮影装置入替

胃部X線フィルムの販売中止への対応の一環として、県央メジカルセンターに配車しているフィルム式検診車(県央号)の搭載機器をデジタル撮影装置に載せ替えをした。

検診車	県央号(E-55号に名称変更)
載せ替え装置	胃部集団健診X線システム
購入先	株式会社 日立製作所
総額	27,643,000 円 (修繕引当金取崩額 20,000,000 円を充当)
納車	令和3年3月26日

合 計 27,643,000 円

(2) その他固定資産購入一覧

施設設備や医療器具の老朽化などに対応するため、次の固定資産を整備した。

【建物附属設備】

ア コールセンター電話機増設工事一式	858,000 円 (税込)
イ コールセンター電話機増設工事	533,500 円 (税込)
ウ 貯水槽給水配管更新工事	544,500 円 (税込)
エ 会議室LED設置工事	466,000 円 (税込)

小計 2,402,000 円 (税込)

【器具・備品】

ア 高圧蒸気滅菌器(子宮がん3号車)	899,800 円 (税込)
イ 本館3Fエアコン設置 5台	3,850,000 円 (税込)
ウ 先天性代謝異常検査システムサーバ	1,806,090 円 (税込)
エ 分館 電話主装置交換	544,738 円 (税込)
オ 分館 X線撮影装置管球交換	2,200,000 円 (税込)

カ	胃部 X 線テレビ用 CCD カメラ交換	1,320,000	円 (税込)
キ	コンパクト視力計 CA-1000	205,700	円 (税込)
ク	オーディオメーター AA-57	240,900	円 (税込)
ケ	フリーパーテーション	162,800	円 (税込)
コ	学童検診用心音心電計 ECP-8641	2,695,000	円 (税込)
	小計	13,925,028	円 (税込)

【車 両】

ア	県央 ハイエース (資材運搬用中古)	1,119,000	円 (税込)
イ	中越 ホンダエブリィ 2台	2,481,980	円 (税込)
	小計	3,600,980	円 (税込)

【一括償却資産】

ア	検査課 代謝異常検査室エアコン	143,000	円 (税込)
イ	情報管理課 エアコン設置	144,100	円 (税込)
	小計	287,100	円 (税込)

【ソフトウェア】

ア	Webサーバー移転作業一式	649,000	円 (税込)
イ	希少疾患付加新生児スクリーニング システム	2,750,000	円 (税込)
	小計	3,399,000	円 (税込)

合 計 23,614,108 円 (税込)

(3) 長期借入金及び長期リース負債の償還

ア 長期借入金

- ① 借入先 第四銀行県庁支店
- ② 当年度中の償還額 9,996,000 円
- ③ 借入の内容 胸部 X 線検診車の購入代金に充当。(7年間)

イ 長期リース負債

- ① リース先 栄研化学株式会社
- ② 当年度中の償還額 16,848,000 円
- ③ リースの内容 検査課 生化学検査機器導入(5年間)

償還額 (計) 26,844,000 円

(4) 日本宝くじ協会のX線検診車助成金事業

日本宝くじ協会から助成金を受けた乳房X線検診車について、公益財団法人予防医学事業中央会から当財団に配備された。

- (1) 対象物品 乳房X線デジタル検診車 1台（装置は2基搭載）
- (2) 助成金の受領 公益財団法人 予防医学事業中央会（本部）
- (3) 会計上の対応
 - ① 中央会本部が日本宝くじ協会から助成金を受領し、当財団（新潟県支部）に検診車を配置する。
 - ② 売買に相当する金額 82,060,000 円は、指定正味財産の受取寄付金として取り扱う。
 - ③ 検診車両の登録費用及び中央会本部が行う契約に関わる事務費 2,410,000 円については当財団が経常外費用として負担する。

(4) 経過

令和3年 1月29日 当財団に納車、検収

令和3年 2月12日 中央会本部から事業完了報告書及び助成金申請書が日本宝くじ協会に提出され、受理された。

令和3年 3月25日 予防医学事業中央会理事長をお迎えし、当財団の役員を交えて配車式を挙行了した。

(5) 特定費用準備資金に基づく設備投資

- ① 前年度（令和元年度）における当期経常増減額とほぼ同額の 32,032,654 円を、令和2年3月31日付けで「特定費用準備資金」として、特定資産科目の「減価償却引当資産」の一部に積立てを行った。
- ② 令和2年度においては、特定費用準備資金（減価償却引当資産の一部）のうち、30,001,752 円を取崩し、次の設備投資（未払金）の支払いに充当した。

ア 装置 胸部集団検診用X線システム（胸部検診車D-10号）
イ 購入先 キヤノンメディカルシステムズ（株）
ウ 金額 42,933,000 円
 （特定費用準備資金 30,001,752 円を充当）
エ 支払日 令和2年4月30日
 （未払金計上は、令和2年3月31日）

4 法人運営の状況

(1) 主な会議の開催状況

定款の規定に基づき、理事会及び評議員会を次のとおり開催し必要事項を審議した。

ア 理事会

- | | | | | | |
|---|-----------|------|-----|--------|---------|
| ① | 第17回定時理事会 | 令和2年 | 6月 | 2日(火) | 本館4階会議室 |
| ② | 第15回臨時理事会 | 令和2年 | 6月 | 19日(金) | 本館4階会議室 |
| ③ | 第16回臨時理事会 | 令和2年 | 10月 | 2日(金) | 本館4階会議室 |
| ④ | 第18回定時理事会 | 令和3年 | 3月 | 17日(水) | 本館4階会議室 |

イ 評議員会

- | | | | | | |
|---|-----------|------|----|--------|---------|
| ① | 第9回定時評議員会 | 令和2年 | 6月 | 19日(金) | 本館4階会議室 |
|---|-----------|------|----|--------|---------|

(2) 県・新潟市・長岡市に対する要望活動

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う経営的影響に対応するため、県内の他の健診機関と協力して、次のような要望活動を行った。

- | | | | | |
|---|---------|------|-----|--------|
| ア | 新潟県知事あて | 令和2年 | 8月 | 20日(木) |
| イ | 新潟市長あて | 令和2年 | 8月 | 26日(水) |
| ウ | 長岡市長あて | 令和2年 | 10月 | 26日(月) |

(3) 監査報告

令和3年5月20日(木)に行われた監事監査の結果、令和2年度の事業報告及び決算について、適正の報告があった。

令和2年度 検査・健（検）診 事業状況

	年度		令和2年度			前年度比較			
	事業区分	令和元年度 (A) 実施数	(B) 計画数	(C) 実施数	C/B (%)	C/A (%)			
検査事業	母子	先天性代謝異常検査		15,257	14,000	14,849	106.1	97.3	
		付加新生児スクリーニング				286			
	学校保健	寄生虫検査 ぎょう虫		0	0	82			
		尿検査		154,623	153,000	146,293	95.6	94.6	
		(再掲)	1次検査	140,308		137,525			
			2次検査	3,757		4,000			
			腎精検	241		231			
			糖精検	27		35			
		大学		10,290		4,502			
	貧血検査（小児生活習慣病含）		9,792	9,800	7,411	75.6	75.7		
	感染症	腸内細菌検査		39,847	40,000	33,180	83.0	83.3	
		食品検査		647	600	632	105.3	97.7	
		QFT検査		1,173	1,100	978	88.9	83.4	
		HPV検査		133	120	108	90.0	81.2	
		血液検査（抗体）		2,174	2,200	1,866	84.8	85.8	
	受託	血液	(新潟市医師会)	774	750	754	100.5	97.4	
			(ABC検診)	0	0	0			
	病理（開業医・他健診機関）		4,096	4,000	3,794	94.9	92.6		
	健診事業	学校保健	結核検診（高1年生・大・専門学生）		25,070	25,100	17,043	67.9	68.0
			心臓検診（小・中・高生）		36,950	37,000	35,906	97.0	97.2
学生健診（内科含む高・大・専門学生）			6,217	6,200	8,206	132.4	132.0		
地域検診（出張健診）		特定健診	全委託	33,142	33,000	24,465	75.6	75.2	
			一部委託	2,482	2,450	2,334			
		肝炎	特定・単独	1,699	1,700	1,437	84.5	84.6	
		前立腺がん	特定・単独	4,678	4,600	3,348	72.8	71.6	
		糖負荷試験		83	85	53	62.4	63.9	
		胸部検診	結核検診 間接撮影	107,850	108,000	79,213	73.3	73.4	
			肺がん検診 間接撮影	138,413	138,000	101,446	73.5	73.3	
			喀痰細胞診	2,267	2,200	1,158	52.6	51.1	
		胃がん検診		16,527	16,000	12,528	78.3	75.8	
		大腸がん検診		38,849	38,000	31,650	83.3	81.5	
		乳がん検診		23,270	23,000	15,468	67.3	66.5	
		再掲	(マンモ1方向)	19,229		12,735			
			(マンモ2方向)	4,041		2,733			
		子宮がん検診		13,960	13,800	7,306	52.9	52.3	
腹部超音波		0	0	0					
骨粗しょう検診		972	950	734	77.3	75.5			

		年 度		令和2年度			前年度比較		
		事業区分	令和元年度 (A) 実施数	(B) 計画数	(C) 実施数	C/B (%)	C/A (%)		
健 診 事 業	職 域 検 診	定期健康診断	23,126	23,000	19,592	85.2	84.7		
		出張 健診	A (推奨・充実・法定)	5,687		4,485			
			B (推奨・法定)	94		54			
			協会(生活習慣病健診)	3,546		3,141			
			新採用(雇用時)検診	279		232			
			深夜業務従事者健診	2,415		2,001			
			他保険組合健診	8,328		8,018			
			その他健診	2,777		1,661			
			施設健診	ホール健診	14,662	14,500	14,339	98.9	97.8
		ドック	3,496	3,400	3,235	95.1	92.5		
		各種 検査・ がん 検診	特殊健診	2,619	2,800	2,172	77.6	82.9	
			胸部検診	39,892	39,000	36,548	93.7	91.6	
			(再掲)	単独病院・施設	7,168		5,823		81.2
				出張	17,428		16,888		
				ホール	11,820		10,619		
ドック	3,476				3,218				
喀痰細胞診	478	400	392	98.0	82.0				
健 診 事 業	職 域 検 診	胃がん検診	14,308	14,000	13,720	98.0	95.9		
		(内訳)	胃カメラ (ドック・ホール)	2,020		1,859			
			出張	5,458		5,204			
			ホール	5,180		5,090			
			ドック	1,500		1,413			
			単独	150		154			
			大腸がん検診	14,080	14,000	13,609	97.2	96.7	
		(内訳)	出張	4,611		4,603			
			ホール	6,056		5,819			
			ドック	3,413		3,187			
		乳がん検診	3,997	4,000	4,117	102.9	103.0		
		(内訳)	出張	1,254		1,845			
			ホール	1,650		1,389			
			ドック	1,093		883			
		視触診	0	0	0				
		子宮がん検診	4,908	5,000	3,503	70.1	71.4		
		(内訳)	出張	2,042		859			
			ホール	1,835		1,698			
			ドック	1,031		946			
		前立腺がん検診	1,875	1,900	1,976	104.0	105.4		
(内訳)	出張	282		472					
	ホール	268		267					
	ドック	1,325		1,237					
骨粗しょう検診	236	250	200	80.0	84.7				
(内訳)	出張	0		0					
	ホール	61		50					
	ドック	175		150					
健 康 支 援	感 染 予 防	予防接種	11,764	12,000	13,695	114.1	116.4		
		(内訳)	インフルエンザ	9,575	10,000	12,283			
			B型肝炎	1,673	2,000	948			
			麻疹・風疹(MR)	273	0	241			
			ムンプス	201	0	172			
			水痘	39	0	46			
			肺炎球菌	3	0	5			
			破傷風	0	0	0			
			ツベルクリン反応	0	0	0			
		総 計		816,386	809,905	679,626	83.9	83.2	

令和2年度 健康づくり支援事業実施状況

事業区分		年度	令和2年度			前年度比較	
		令和元年度 (A) 実施数	(B) 計画数	(C) 実施数	C/B (%)	C/A (%)	
健康 支 援	特定保健指導	住民健診	98	100	62	62.0	63.3
		隣域健診	298	280	287	102.5	96.3
		健康げんき倶楽部	25	30	18	60.0	72.0
	ストレスチェック	ストレス検査	13,622	13,600	11,246	82.7	82.6
		医師面接指導	36	40	31	77.5	86.1
		メンタルヘルス相談	5	10	1	10.0	20.0
	生活習慣予防	糖尿病予防事業	194	190	170	89.5	87.6
		喫煙予防事業	95	90	8	8.9	8.4
	健康相談	人間ドック健康相談	3,473	3,400	3,217	94.6	92.6
		定期健康診断・労災2次・新潟市特定における健康相談	1,379	1,350	1,215	90.0	88.1
		健康げんき倶楽部健康相談	152	150	131	87.3	86.2
		産業カウンセラーによるカウンセリング	17	20	25	125.0	147.1
	健康教育	市民健康講座 (オンラインセミナー)	177	200	265	132.5	149.7
		健康げんき倶楽部健康づくりセミナー	172	180	142	78.9	82.6
		連携講座・受託セミナー	224	220	53	24.1	23.7
		講師派遣	419	400	105	26.3	25.1
総 計		20,386	20,260	16,976	83.8	83.3	